

Atlas of Arthroscopy Surgical Skills



スキル関節鏡下手術アトラス



監修 越智光夫 広島大学教授

肩関節 鏡下手術

編集 米田 稔 大阪厚生年金病院部長

Koh

文光堂

3. 各種評価基準

関町病院院長
丸山 公

▶はじめに

1つの評価法ですべての疾患の種々の状態を感度良く、また信頼度高く評価することは不可能である。まず、何を評価したいかを明確にして評価法を選択することが重要である。長い間、肩関節の評価法として“JOA score”は大きな存在であったが、最近ではより疾患特異的な評価法が作られており、それぞれの疾患にあった評価法を選択することが大切である。

また、医師側と患者側では常に治療結果に対する満足度にギャップがあることも事実であり、臨床医はそれを真摯に受け止め、医療経済学的な見地からも、患者の満足度を優先する治療を選択するべきである。そのために、肩関節評価法だけに頼らずに、視点の違う患者のQOL評価を含めた複数の評価法を用いるのも1つの対処法である。

▶日本整形外科学会肩関節疾患治療成績判定基準¹⁾(JOA score, 表1)

日本整形外科学会からの要請により、日本肩関節学会内で、高岸直人を中心に大規模なフィールドワークの末に完成したものである。それが“JOA score”と呼ばれているゆえんである。

完成後には日本肩関節学会内に、JOA score再検討委員会が常設されており、この評価法も機能評価のマイナーチェンジを経て現在の形に至っている。長年にわたり、広く肩関節疾患の治療成績判定に利用され、わが国の肩関節外科の発展に大きく寄与してきた。

表1のように、疼痛(30点)、機能(20点)、可動域(自動運動)(30点)、X線所見評価(5点)、関節安定性(15点)の100点満点の構成であり、こ

れに治療後評価として、患者および医師側の満足度が“+、0、-”の3段階で評価される。

「記載のための手引書²⁾(manual, 表2)」がついており、それに従って記入することが求められる。日常生活動作群は患側の動作に限って評価することに注意する。X線所見評価は、正常、亜脱臼および脱臼と記載されているが、実際には人工骨頭システム周囲のlucent areaの存在、腱板断裂例での上腕骨頭上方化、大結節平坦化、脱臼肩でのHill-Sachs損傷なども評価対象となることに留意しなければならない。

佐野らの検者間再現性に関する検討では、疼痛の相関係数がやや低く、X線所見、安定性の相関係数はかなり劣っていたと報告している³⁾。

この評価法はあらゆる肩関節疾患について対応すべく包括的なものとなっており、その反面疾患特異度はあまり高くない。そのために後述する「日本肩関節学会肩関節不安定症評価法」「日本肩関節学会肩のスポーツ能力の評価法」や「肩鎖関節機能評価法」を追加作成するに至った。

項目間の点数の重複や干渉(疼痛が可動域やADLに大きく影響するなど)に対する配慮がされていないこと、X線評価や関節可動域測定を含めた医師側の評価が主体であり、患者は医師の問いかけにより回答するため、バイアスがかかることが回避できないなどの課題がある。また、項目の配点根拠が明らかでなく、QOL評価はわずかであり、計量心理学的解析(validation study)がなされていないなど、昨今いくつかの問題点が日本整形外科学会より指摘されている。

そこで、現在日本肩関節学会では、日本整形外科学会の指導のもとに新たな肩関節評価法(新JOA

スキル関節鏡下手術アトラス
肩関節鏡下手術

定価(本体 18,000 円+税)

2010年5月27日 第1版第1刷発行

■ 監修者 お ち み つ お 越智光夫

■ 編集者 よねだ みのる 米田 稔

■ 発行者 浅井宏祐

■ 発行所 株式会社文 光 堂
〒113-0033
東京都文京区本郷7-2-7
電話 (03) 3813-5478 (営業)
(03) 3813-9591 (編集)
URL <http://www.bunkodo.co.jp/>

■ 印刷所 広研印刷

ISBN978-4-8306-2765-1

©越智光夫・米田 稔, 2010 Printed in Japan

乱丁・落丁の際はお取り替えいたします。

[検印省略]

・本書の複製権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は、株式会社文光堂が保有します。

・**JCOPY** <社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に社)出版者著作権管理機構(電話 03-2512-6060 FAX 03-2512-6070 info@jcopy.jp)